

「土のう」で水害対策

住居への浸水を予防・軽減するために

河川排水課 ☎ 85-6361

皆さんは、水害から住居を守るため普段から対策を行っていますか。

台風や集中豪雨による被害を最小限に抑えるためには、非常持出品の準備はもちろんのこと、住居や家財が被害に遭わないための備えも必要です。

今回の特集では、土のうを使った水害対策について紹介します。

川から離れているから大丈夫？

河川の氾濫だけが水害ではありません。排水施設の排水能力を超える大量の雨が降ると、排水しきれなくなった雨水がマンホールや側溝から溢れかえる内水氾濫によって住居が浸水してしまう被害が発生します。内水氾濫は、河川から離れた場所でも起こりうる水害です。しかし、この内水氾濫は事前に備えておくことで、住居への浸水を予防・軽減することができます。

家庭でできる浸水対策の第一歩「土のう」

内水氾濫による浸水から住居などを守るための対策として、準備できるものの一つが土のうです。土のうとは、麻やポリエチレンなどで作られた袋に土や砂を入れたもので、住居などへの浸水対策として、門柱の間や玄関前などに積み重ねて使います。正しい積み方を知っておくことで、より効果的に浸水を防ぐことができます。

市から土のうを配付します。

台風や大雨への備えとして、市職員が各家庭に土のう半土のう(約半分の重さの土のう)を届けます。



電話一本で自宅に運びます！

時 5月26日(金)

※時間は指定できません。

※不在の場合は指定された場所に置きます。

申 5月11日(木)・12日(金)午後

1時〜7時に☎85-6710(期間中のみ開設)へ

※平日の午前8時30分〜午後5時15分に、市役所へ土のうを取りに来ることも可能です。その場合は、事前に市民安全課(☎85-6072)へ連絡してください。※配付した土のうは回収しません。



(ID:1004183)

使用した土のうの大きさ



重さ：約17kg
厚み：約10～15cm

市では、約半分の重さの半土のう(約10kg)も使用しています。

正しい土のうの積み方

条件：幅1.5mの場所に土のうを2段積み上げる



完成！



向きが対になるように2列目を並べ、踏み固める



縛り口を家の方に向け、上流側から下流側へ向かって並べる



土のうは縛り口が下になるように設置しましょう



①で並べた土のうの上に2段目を並べ、踏み固める



隙間のないように踏み固める

使用した土のうの数 … 20個

正しく積んだ土のうは安定していて、これなら自宅への浸水もばっちり防いでくれそう。

ただ、重い土のうをたくさん運ぶのは大変で時間もかかりますね。もっと効率的に少しの土のうで浸水を防ぐことができるといいな。

実際に土のうを積んでみました！

春日井広報大使の宮本忠博さんに協力していただき、土のう積みを実際に体験してもらいました。



春日井広報大使
宮本忠博

積むだけじゃない！ 土のうの使い方

土のうは正しく積むことで高い止水効果がありますが、1個当たり約17kgと軽いものではなく、1.5m幅に2段積み上げるだけでも約20個の土のうが必要です。

体力に不安がある人は、少しの土のうで効果的に浸水対策ができる方法を紹介しますので、確認しておきましょう。

用意するもの

- ・土のう
- …半土のうでも可
- ・土のうを入れる箱
- …プランターや段ボールなど
- ・ブルーシート
- …耐水性のある大判のレジャーシートでも代用可

POINT



箱はなるべく隙間のないように並べましょう



ブルーシートで包み、重し(今回は土のう)を置く



ブルーシートの上に箱を並べる



完成！



箱の中に土のうを入れる

使用した土のうの数

10個

こんな方法もあるんですね。これなら土のうを積むことが難しい人でも簡単にチャレンジできそう。ぜひ一度、自宅などで試してみてください。



体験の様子を
市公式動画チャンネル「市政だより」で
配信しています

今回の特集で掲載した宮本さんの土のう積みの体験の様子は、動画でも見るができます。



市公式動画チャンネル
「市政だより」



自宅や職場などの
水害リスクを
確認しましょう

水害は家族が一緒にいる時に発生するとは限りません。あらかじめ住んでいるまちの被害想定を把握しておくことが、自分自身や家族の命・財産を守ることにつながります。

「洪水ハザードマップ」には、想定しうる被害の大きさや各地域の避難所など、水害の備えに関する情報が満載です。いざという時に備えるためにも、避難の方法や経路などを家族と一緒にマップを見て話し合っておきましょう。

洪水ハザードマップは、市役所や市の主な公共施設で配布しており、市ホームページなどでも見ることができます。

洪水ハザードマップ(東部・中部・西部)



・洪水ハザードマップ
(ID:1008498)



被害を防ぐ第一歩。
いち早く情報を
入手しましょう

水害による被害を避けるためには、情報収集が重要です。警報・注意報・避難情報などをこまめにチェックできるように、情報の入手方法を確認しておきましょう。

・安全安心情報
ネットワーク
(ID:1001490)



・緊急情報
Twitter
(ID:1006992)



・緊急速報
メール
(ID:1025367)



・市ホームページ、テレビ、
ラジオなど

 YouTube 配信
(ID:1008493)



リアルタイムで河川の状況を見ることが
できます(出水期のみ)。
水位を確認し、行動の参考にしましょう。

水防訓練を実施します

市の水防態勢の充実・強化を図るとともに、地域住民の皆さんの水防意識の向上を図るため、水防訓練を行います。皆さんもこの機会に防災力を高めましょう。

場 時
6月4日(日)
白山小学校(グラウンド)



令和4年度水防訓練の様子(坂下小学校)